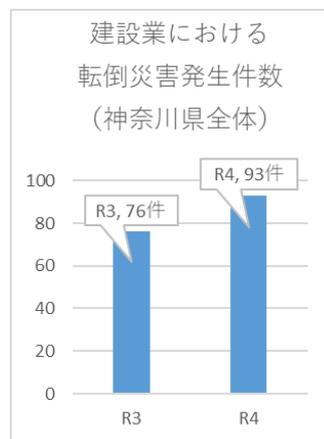
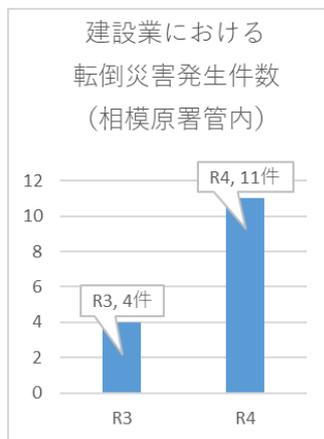


建設現場における 転倒災害の防止にご協力ください

職場における転倒災害が近年増加しています。神奈川県内の全業種での令和4年の転倒災害の件数は1,996件で、前年に比べて約11%増加しました。建設業においては全業種に比して増加率は大きく、相模原署管内で前年の2.75倍、神奈川県全体では前年比約22%増となりました。

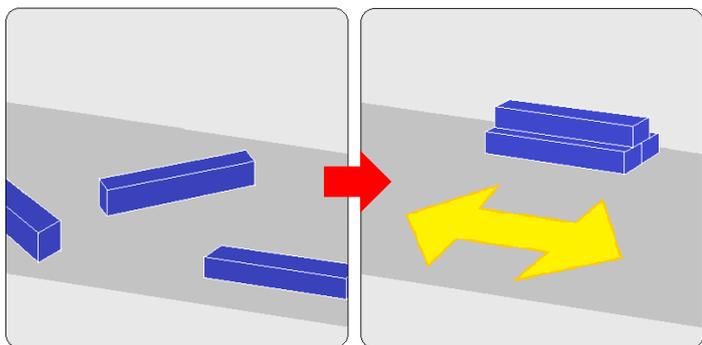
労働力人口の高年齢化が進む中で転倒災害発生の可能性は高まってきています。転倒災害は大きな怪我や、最悪の場合死につながる災害です。

通路等にある障害物等は取り除くことが基本となりますが、それが困難な場合でも以下の対策例③④の措置を講じる等により、現場における転倒災害の発生を防止しましょう。

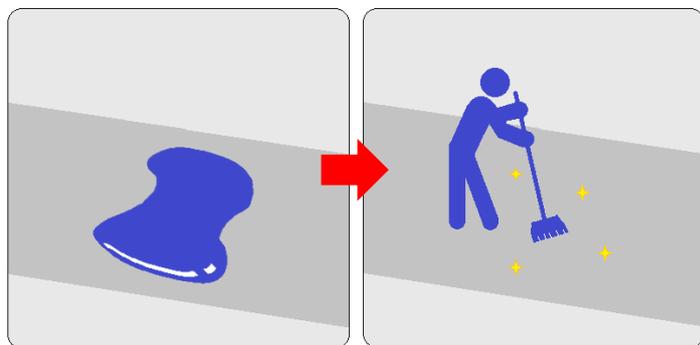


※数字はいずれも労働者死傷病報告（令和3年1月1日～令和4年12月31日）による

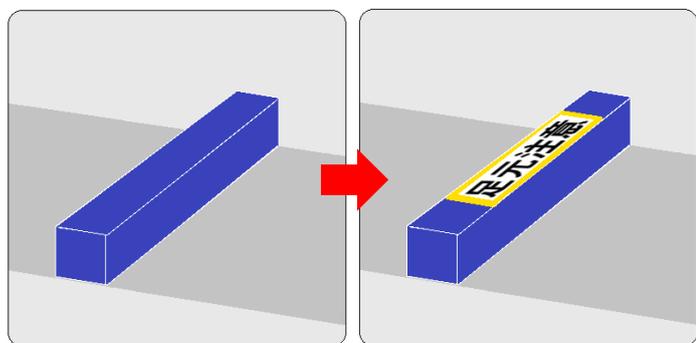
< 対策例 >



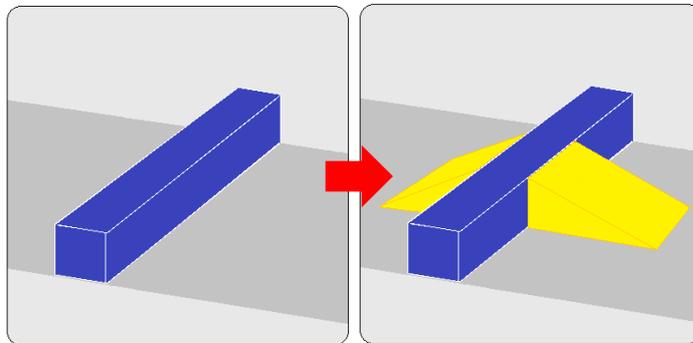
① 部材等は通路に放置せず、
整理整頓する



② 清掃を行い、つまづき、すべりの
原因を取り除く



③ 転倒が予測される箇所に掲示等
をする（貼紙やリボンなど、
見やすい色のものが望ましい）



④ 段差にスロープや階段等を
設ける

